

授業科目名： 保育内容の指導法（環境）	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 田中純江 担当形態： 単独
実務内容 （実務家教員の場合）	学校現場での勤務経験を持つ教員が、保育内容（環境）を中心とした指導計画の作成について指導する。		
科目	領域及び保育内容の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む）		
「学位授与の方針」との関係 DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）□			
授業のテーマ及び到達目標 (1) 幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「環境」のねらいおよび内容を理解する。 (2) 幼児の発達を理解し、具体的に保育を構想し指導する方法を身に付ける。 (3) 具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。			
授業の概要 幼稚園教育の基本をふまえ、領域「環境」のねらいおよび内容を理解する。幼児の発達に即して、環境を活かし深い学びを目指した保育を構想し、指導する方法を身に付ける。情報機器について、効果的に用いる方法を理解し、保育に活用する方法を身に付ける。スクーリングでは、すべての内容を包括的に取り上げる。各自が構想した保育の、指導案作成を通して、指導案の構成を学ぶ。どのような保育を実践すれば、幼児の主体的で多様な活動を引き出すことができるのかを、アクティブラーニングの手法も用いて探っていく。			
授業計画 第1回：幼稚教育の基本と保育内容「環境」 第2回：子どもの発達と、領域「環境」 第3回：領域「環境」のねらい、内容の展開の実際①（園内活動） 第4回：領域「環境」のねらい、内容の展開の実際②（園外活動） 第5回：幼児期の特性を理解し、具体的に保育を構想し指導する方法 第6回：自然に親しみ、動植物に触れる保育①（計画立案） 第7回：自然に親しみ、動植物に触れる保育②（体験実地） 第8回：標識・文字等に関わる保育（情報機器及び教材の活用を含む） 第9回：数量・図形等に関わる保育（情報機器及び教材の活用を含む） 第10回：生活に関係の深い情報や施設に関わる保育（情報機器及び教材の活用を含む） 第11回：指導案作成①（計画立案） 第12回：指導案作成②（保育内容の精査） 第13回：指導案作成③（書式に書き込む） 第14回：指導案作成④（仕上げと意見交換） 第15回：環境に関わる現代的課題（SDGs、生物多様性、生態系、インクルーシブ教育、他） 科目修得試験			
スクーリングでの学修 *スクーリングではすべての内容について包括的に取り上げる。			
テキスト 文部科学省（2018）『幼稚園教育要領解説』フレーベル館、978-4577814475			
参考書・参考資料等 神長美津子・堀越紀香・佐々木晃 編著（2018）『保育内容 環境』光生館、978-4332701866			
学生に対する評価 スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）			